

# 平成24年に叙勲・褒章を受章された方々



(発令順)

## 瑞宝双光章



東谷 忠良さん (北塩子 教育功労)

昭和19年に瓜連農業青年学校教諭として奉職後、小瀬村立小瀬中学校教諭、常陸太田市立町屋小学校教諭を経て、久慈郡大子町立上岡小学校長に昇格されました。その後、緒川村立八里小学校長を歴任され、昭和58年に退職されるまで戦後の厳しい教育条件の中、児童生徒への深い愛情をもって学校教育の進展に貢献されました。

## 瑞宝双光章



横山 峯男さん (照田 教育功労)

昭和19年に前渡村阿字ヶ浦青年学校助教諭として奉職後、山方町立山方小学校教諭、山方町立野上小学校教諭を経て、山方町立盛金小学校長に昇格され、昭和59年に退職されるまで、教育一筋に打ち込み、卓越した指導力と深い研究心と教育に対する情熱をもって、学校教育の進展に貢献されました。

## 旭日双光章



永嶋 昇さん (野口 自治功労)

昭和56年、御前山村議会議員に当選以来、合併後も常陸大宮市議会議員として平成18年まで、該博なる知識と政治手腕を遺憾なく発揮され、地方自治発展に大きく寄与されました。その間、御前山村議会議長、城北地方広域事務組合議会議長等の要職を歴任され、議会の円滑な運営や教育文化、福祉の向上に大きく貢献されました。

## 瑞宝单光章



木村 幹朗さん (舟生 統計功労)

国勢調査員に任命されて以来、55年の永きにわたり国勢調査に従事され、正確な調査の遂行に尽力されました。農林業センサス調査には44年、茨城県農業基本調査には42年従事されました。調査の実施にあたっては、地域住民に対し、調査の重要性について積極的な啓蒙に努めるとともに、常に円滑かつ正確な統計調査を実施されました。

## 瑞宝单光章



長山 登志治さん (小舟 消防功労)

緒川村消防団員に任命されて以来、39年余の永きにわたり、住民の生命・財産を守るため日夜献身的に消防活動に精励され、消防団発展のため尽力されました。団員の資質、規律の向上及び士気の高揚に努めるとともに、各部における機械器具等の整備、防火用貯水槽の増設に努められ、消防体制の充実に尽くされました。

## 瑞宝单光章



宮田 恒夫さん (東野 警察功労)

昭和36年、茨城県巡査に任命されて以来、巡査部長、警部補に昇格され、平成13年に退職されるまで、危険を顧みず治安維持に尽くされ、地域住民の日常生活の安全と平穏を守るため、街頭に立った警戒活動等、効果的な活動を積極的に推進し、凶悪事件の犯人検挙をはじめ、地域住民への防犯指導及び通事故防止等に貢献されました。

## 藍 綬 褒 章



小林 宏美さん (秋田 統計功労)

国勢調査員及び農林業センサス調査員に任命されて以来、50年の永きにわたり従事され、精度の高い調査活動を行ってこられました。さらに、昭和63年、平成20年に住宅統計調査に従事されるとともに、茨城県農業基本調査等、通算52回の各種調査に従事され、その責務を確実に遂行してこられました。

## 藍 綬 褒 章



坪 將秀さん (長沢 統計功労)

農林業センサス調査員に任命されて以来、45年の永きにわたり従事され、農林業の構造や実態を明らかにするため、その責務を確実に遂行されました。さらに、国勢調査員として調査に従事され、通算45回の各種調査に従事され、適正かつ正確な統計調査の遂行に尽力されました。

## 瑞 宝 双 光 章



坪 徹さん (東野 教育功労)

昭和18年に薩郷農業青年学校教諭に奉職後、山方町立塩田中学校教諭、那珂町立戸多小学校教頭を経て、久慈郡大子町立初原小学校長に昇格されました。その後大宮町立大場小学校長を歴任され、昭和58年に退職されるまでの永きにわたり、誠心誠意教育一筋に挺身し学校経営に手腕を発揮され、顕著な功績を残されました。

## 旭 日 単 光 章



小林 義雄さん (野口 自治功労)

昭和60年に御前山村議会議員に当選以来、平成9年まで、郷土愛護の精神を堅持し、豊富な経験と卓抜なる識見をもって行政の各部門にわたり大いに貢献されました。特に、基幹産業である農業の振興対策に重点をおき、生産組合の育成、後継者対策、農作物の振興に対する助成など農業活性化の施策を積極的に推進されました。

## 瑞 宝 双 光 章



茅 根 典男さん (小祝 教育功労)

昭和41年に鹿島郡神栖村立軽野東小学校教諭に奉職後、緒川村立緒川中学校教諭、県立水戸聾学校教頭を経て、県立鹿島養護学校長に昇格され、その後も県立水戸盲学校長を歴任され、平成15年に退職されるまで、教育一筋に歩まれ、確固たる教育理念と情熱をもって教育活動に専念されました。

## 瑞 宝 単 光 章



山 崎 菊枝さん (泉 社会福祉功労)

昭和45年に社会福祉法人ナザレ園特別養護老人ホーム・盲老人ホームの事務員として奉職後、介護員に職種を替えて、盲老人ホームの介助員として34年の永きにわたり高齢者、視覚障害者等の介護に携わり、常に利用者のニーズと意思を尊重し、入居者の生活の向上に努め社会福祉の発展に尽力されました。